

資料 ③

児童氏名 ○○ ヒロシ (6年・男)

記入者氏名 ○○ ○○

200X年X月

生育歴・家庭環境

- ◇ 父, 母, 本人, 第二人の5人家族。すぐ近所に父方の祖父, 祖母が居て, 日常的に行き来している。
- ◇ 主に母親が本児の教育に当たり, 父親は仕事などで不在のことが多い。
- ◇ 主に母親が家事に当たり, 父方の祖母は一切手助けをしない。
- ◇ 父方の祖母から育て方の問題を責められたり, 父親の協力が十分に得られなかったりするため, 母親の心理的負担が大きく, 体調を崩しがちである。

日常生活の姿

- ◇ 教育相談室の一角を居場所とし, 学校生活の拠点にしている。
- ◇ 朝, 教育相談室で, 学級担任とその日の予定の確認をし, 予定表を作成している。
- ◇ それに基づいて, 体育, 家庭科など, 一部の教科で通常の学級に参加し, あとは, 保健室, 職員室, 自律学級などで, 個別の学習を行っている。
- ◇ 予定表のサイン欄に担当教員のサインをもらい, それに応じて「ゲーム屋さん」を許可する約束だが, このごろそのルールを守らないことがある。

保護者の意向

- ◇ 両親ともに, 通常の学級でがんばってもらいたいという気持ちが強い。自律学級への通級について, 現状を認めてはいるが, 入級には消極的で「たとえ居るだけでもいいから」と, 通常の学級の授業に参加することを望んでいる。
- ◇ 学校がチームで支援体制を組んで, 本人への対応に当たっていることについては, 両親とも概ね好意的に受け止めているように思われる。ただし, 教科学習の時間, 特に通常の学級での時間が十分に確保されていないことには, 少なからず不満もっている。
- ◇ 中学校進学に当たっては, 自律学級も視野に入れているようだが, まだ迷いもあり, 決めかねているようだ。

諸検査の結果・医学的所見

WISC-III (200X年XX月XX日実施)

- ◇ 全体的には平均を上回る水準で, 特に動作性検査, 中でも「組合せ」をはじめとする「知覚統合」の群に属する検査では極めて高い評価点を得た。その中で「言語性<動作性」の差は極めて大きく, また下位検査間の差も極めて大きい(最高と最低の差が11)。

医学的診断 (200X年X月)

- ◇ アスペルガー症候群と考えられる。この子の得意なことを生かすことが大事。その上で, 今後の進路, 就職など考えていくこと。
- ◇ 生活の場を少人数の集団とすることも考えてみる必要がある。

総合的な考察 (校内委員会)

- ◇ 基本的には, 本人の得意なことを生かすという立場から, 本人が現在意欲的に取り組んでいる「ゲーム屋さん」(自分の考えたゲームに友だちを誘っていっしょに遊ぶ)の活動を中核に据えて, それに向けて目当てをもって取り組める学校生活を構築していく。
- ◇ 予定表やサイン・印など, 視覚的な情報によって見通しをもったり成果を実感したりできるように配慮するとともに, 活動の中でも, 本人の得意な動作性の能力, 特に, 空間を構成したりポスター, ちらしなどをデザインしたりすることを取り入れていく。
- ◇ 予定表やサイン・印によって, ルールが守られないときには, 本人が納得できないものがあるようだ。教師の対応の強引さがその一因となっていることも考えられる。その点, 留意すべきである。

支援の方向 (校内支援委員会)

- ◇ 通常の学級及び全校での活動への参加については, 音に対する過敏性があり, 音楽や体育館での全校集会への参加は特に難しい。他の活動でも, 着席しての話し合い活動への参加は難しいが, 手を動かしたり体を動かしたりしながら参加することのできる体育や家庭科の実習, 理科の実験などには参加できそうである。今後, 本人が無理なく参加できる活動を考慮し, 本人の意志も尊重しながら, 選択的に参加するようにする。
- ◇ 教科学習については, 国語(漢字の読み書き)と算数(計算)に重点を置いて, 自律学級で個別学習の時間を確保していく。指導の中心は, 社会的ルールを遵守しながら目当てをもって活動できるように, 学校生活全般の枠組みを明確にしていくことである。

個別の指導計画（短期）

児童氏名 ○○ ヒロシ (6年・男) 記入者氏名 ○○ ○○ 200X年X月～XX月						
観点	目 標	方 法	形 態	担当	評価	
教 科	◇ 国語 学年相当（6学年）の漢字の書きを習得する。	◇ 漢字練習ソフト「よみかきくん」の6年用を用いて、1問ずつ解き進む。 ◇ 分からないときは、教師がヒントを出したり、インターネット上の書き順ムービーで確かめたりする。	自律学級：3校時、 個別学習	自律学級 担任		
	◇ 算数 学年相当（6学年）の計算のスキルを習得する。	◇ 当面、教科書を用いての学習に誘ってみる。 ◇ それが無理な場合は、「けいさんならおまかせ」など、計算練習ソフトを用いての学習に誘う。	自律学級：2校時、 個別学習	自律学級 担任		
	◇ 体育	◇ 水泳、球技など、本人の興味も考慮して、無理なく参加できる単元・活動に限定して勧める。	6年○組：学級の時間、 集団学習	学級担任		
	◇ 家庭科	◇ 調理、裁縫などの実習の時間を中心に、本人の意志も確認しながら、参加を勧める。	家庭科室・調理室： 学級の時間、大集団学習	専科 担任		
行 動	◇ 棒の携帯 棒を持って廊下を歩くことで他者に脅威を与えない。	◇ 棒を持って歩くとき、「棒を振り回さないで縦にして持つ」ことを助言し、そうしないと、周りの人に怖がられたり嫌がられたりすることを伝える。 ◇ 棒の携帯そのものは、問題が起きない限りは、当面容認する。	校舎内：随時（棒を持って歩いている場面に遭遇したときに対応）、 個別指導	全教職員		
コ ミ ュ ニ ケー ション	◇ 依頼の表現 相手に何かを依頼する時に、「か」で終わる言い方で言う。	◇ もし、「～してください」とストレートな言い方をしてきたら、「『か』で終わる言いの方が気持ちいいな」と一言添える。「～してもらえませんか」という言い方ができた時には、その場で褒める。	自律学級：随時（本人が要求したときに対応）、 個別指導	自律学級担任		
対 人 関 係	◇ ゲーム屋さん ゲーム屋さんで、友だちに楽しんでもらうにはどうしたらいいか、現実の課題に即して考える。	◇ ゲーム屋さんで、友だちと一緒に遊ぶ活動を観察する。また、トラブルが生じた場合には、仲立ちや調整をし、その解決の仕方について一緒に考える。 ◇ 友だちを誘うためにどんな知らせ方をしたらよいか、ちらしやポスターなど、分かりやすい知らせ方を工夫する。また、ゲームの企画や作成などの準備をする。	教育相談室：休み時間、 小集団学習	スタッフ 非常勤		
	◇ 手伝いなど 親しみのある教職員と、家族的な人間関係をもつ。	◇ 母親的な対応で、本人の悩みを聞き、ほっとできる時間をもつ。 ◇ 父親的な対応で、本人に仕事を任せ、仕事ぶりを褒める。	保健室：1校時、 個別学習	スタッフ 非常勤	教諭 養護	
	◇ 朝・帰りの会 学級担任と、一日の予定を確認する。	◇ その日の学級の計画を踏まえた上で自分の計画が立てられるように、相談にのる。本人の意志を尊重し、納得できるように留意する。	職員室：4校時、 個別学習		教頭	
			教育相談室：朝・ 帰り、個別学習		学級担任	